

2018 年次大会・総会案内

- 日時：4 月 28 日（土）13 時 30 分～16 時 45 分
- 会場：東京都中央区 銀座区民館 和室 1
地下鉄下車 徒歩約 15 分 地図参照(最終頁)
東京都中央区銀座 4-13-17 電話：03-3542-6828
- 問合せ・連絡先：村田 淳 電話：045-401-5259
- 報告：①小田辰兵衛「持倉鉱山（新潟県阿賀町）——史料渉猟 3 年半」
②村田 淳「浚渫採鉱法の歴史——主にアメリカを中心として」
③ほか 募集中 会員の近況報告・課題と疑問点など
- *小田辰兵衛さんは、持倉鉱山のカラミレンガの構造物に魅せられて、鉱山の歴史や関連することを熱心収集し、350 頁を超える冊子にまとめられました。まさしく持倉鉱山の生き字引のような存在になっています。また『鉱山研究』92 号にその成果の一部が掲載されています。
- 総会 2017 年度運営報告・2018 年度運営計画
2017 年度会計報告・2018 年度会計予算 役員選出

*なお、運営や会に対するご意見、ご希望を開催日までにお送りください。

2017 年次大会報告者の募集

年次大会で報告していただける人を募集しています。テーマは、鉱山に関するものでしたら何でも構いません。映像資料の上映でも構いません。また、会員でなくてもかまいません。

- 問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22
Tel・Fax：045-401-5259 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

2017 年度運営報告

■行事回数 ①年次大会・例会 3 回 ②見学会・巡検 2 回

③映像の会 3 回 ④海外文献の会（休会中）

■刊行回数 ①「鉱山研究」93 号 ②「ニューズレター」4 回

2017 年

4 月 22 日（土）年次大会・総会 会場：渋谷区立勤労福祉会館 参加者：5 人

報告：①金丸 哲也「非鉄資源会社から刊行された会社史」

②村田 淳「宇部炭田・長登銅山巡検報告」

総会 2016 年度運営報告・2017 年度運営計画、2015、2016 年度会計報告・2017 年度会計予算 以上承認。 役員留任。

5 月 27 日（土）NL 臨時号発行（映像の会案内ほか）

6 月 24 日（土）第 47 回映像の会（詳細は以下に）

8 月 21 日（月）NL106 発行（例会案内ほか、付録・名簿、会計報告）会費請求）

9 月 30 日（土）例会 13 時 30 分～16 時 30 分 渋谷区立勤労福祉会館

参加者：9 人

① 村田 淳「スペイン、リナレスの鉛鉱山

——2016 年国際鉱山史会議報告（映像を見ながら）」

② 嶋崎尚子（早稲田大学学術院教授）

「炭鉱閉山と労働者・家族のライフコース」

10 月 28 日（土）～29 日（日）鉱山合宿 参加者：5 人

金鶏金山、諏訪鉄山、八ヶ岳総合博物館（長野県）

11 月 5 日（日）NL107 発行（各種案内 ほか）

12 月 2 日（土）第 49 回映像の会（詳細は以下に）

12 月中旬 例会会場案内（メール、ポスト）

12 月末日 会報原稿締切（「鉱山研究」93 号）

2018 年

1 月 20 日（土）例会 13 時 30 分～16 時 30 分 渋谷勤労福祉会館 参加者：7 人

報告：①村田 淳「2017 年度MHAアラスカ大会報告」

②高岡秀俊「アラスカ POGO 金鉱山—日本企業による海外鉱山開発の成功例—」

3 月 11 日（土）～12 日（日）伊豆巡検（須崎鉱山露天掘り跡、土肥鉱山鉱脈露頭）

参加者：4 人

3 月 21 日（水）NL108 発行（総会案内 ほか）

4月15日（木）「鉱山研究」93号発行

4月28日（土）年次大会・総会（ご意見、報告者募集）

会場：東京都中央区銀座区民館 参加者：未定

鉱山の映像を観る会 2017年度活動報告

丸山もとこ

【活動内容】 鉱山に関する映像を視聴する

【開催回数】 計2回：通算第47回、48回

第47回 鉱山の映像を観る会

【開催日・会場】 2017年6月24日（土） 渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】 4人

【上映内容】 「国産エネルギーの担い手 太平洋炭礦」（HBC 映画社・太平洋炭礦、1977年、約27分）、生き残りをかけた選択 北海道 太平洋炭礦・苦悩の一年」（NHK 釧路、2000年、約49分）、藤本幸久監督「闇を掘る」（2001年、105分）

第48回 鉱山の映像を観る会

【開催日・会場】 2017年12月2日（土） 渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】 6人

【上映内容】 「空から日本を見てみよう プラス」（BS ジャパン、過去三年の放送から抜萃編集：池島大島（長崎市）、金生山（大垣市）、新日鐵住金大分製鉄所（大分市）、佐賀関製錬所（大分市）、新津久見鉱山（津久見市）、紀州鉱山（熊野市）、生野鉱山（朝来市）、直島製錬所（香川県直島町）、白滝鉱山（高知県大川村）、秋田製錬（秋田市）、柵原鉱山（岡山県美咲町）、藤原鉱山（いなべ市）、約70分）、「ニッポンのこころの原風景 空から見た絶景遺産 産業大国ニッポン」（BS 朝日、2014年5月25日放送、約97分）

海外鉱山文献読書会 参加者募集

現在参加者が少数のために、休止しています。数人の希望者があれば再会します。日時と会場は参加希望者との相談で決めます。毎月一回、年10回の予定です。

翻訳部分を担当せず、聴講だけでもかまいません。

【参加者募集】

【活動内容】 英語で著された鉱山文献を逐語訳で読み解く。クラーク・C・スペンス著

『British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901』（アイダホ大学出版会刊行、1995年）

2018 年度運営計画

□行事回数 ①年次大会・例会 3 回 ②見学会・巡検 2 回 ③映像の会 3 回 ④
海外文献の会（再開予定）

□刊行回数 ①「鉱山研究」94 号 ②「ニューズレター」4 回

問題点：

- ①会員数の増加に努める。学生は会費を半額にする。
 - ②各行事ともに参加者が少なく、内容に工夫が必要。
 - ③例会や大会の報告者が少ないので、報告できるひとを積極的に探す。開催方法や報告者が申し出をしやすいようにする。
 - ④巡検や見学会は、希望を募り、魅力ある鉱山を対象にする。
 - ⑤各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
 - ⑥「鉱山研究」には、大会や例会での報告を必ず掲載する。
- また非会員の原稿もできるだけ掲載し、その後入会を促す。100 号は記念号にする企画をたてる。

□会員の著作目録の HP への掲載の再提案

提案者：村田淳

背景

一昨年に続き再度提案します。

オーストラリアの鉱山史研究会の HP には、会員の著作目録が掲載されています。会員相互の情報交換に役立ち、著書の売り上げにつながりますし、会の活動を詳細に世間に知らせることができます。

手順

①鉱山関係とその他の分野に分けて A、B、C の 3 項目とし、発表年次順に並べる。ただし「金属鉱山研究」と「鉱山研究」に掲載分は前者の後部にその旨を表示。研究のバックナンバーに掲載することにして重複はさける。

②そのため研究のバックナンバーを整備する。

③名簿の掲載に合わせて自己申告してもらおう。メールで原稿を送ってください。

④皆様の賛同があれば目録を提供してくれた会員のものから順次掲載する。

⑤その場合、書名 発行所 頁数 発行・発表年月 購入可能な時は定価 内容を 100 字程度で紹介（B、C 分野は省略）

*実例は、NL99 を参照

例会報告者の募集

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告 20 分質疑応答 10 分に比べ、報告約 1 時間、質疑応答 30 分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであればかまいません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。また報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

＊問い合わせ、申し込みあるいは情報などを、村田淳あるいは役員に。

当会ホームページをぜひご活用ください

丸山もとこ

当会はネット上にホームページを開設しています（アドレスは下記参照）。ここでは、ニューズレター・会誌、例会・大会、見学会・巡検、映像の会、読書会などの最新情報を掲載しています。さらに「情報交換 BBS」では、当会以外の鉱山関連のイベント（企画展、シンポジウム、講演会、新刊本、ツアーなど）の情報を紹介しています（アドレスは下記参照）。逆に、個々の会員が「情報交換 BBS」を使って情報発信したり、記事にコメントをつけたりすることも可能です。情報（但し鉱山関連に限る）を発信したい方、記事にコメントをつけたい方は、下記連絡先までご連絡ください。

記事の投稿方法についてお教えします。あるいは投稿したい内容をメールで下記連絡先までお送りいただければ、管理人が代わりに投稿することも可能です。

ぜひ当会ホームページをご活用ください。

【鉱山研究会ホームページ】<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/>

【情報交換 BBS】<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/member/>

【連絡先】jmrs.hp@gmail.com

名簿の作成・配布について

会員同士で教えあい、情報を交換するために名簿が必要です。海外の研究者は公開するのが原則です。もちろん名簿は会員のみの配布です。年次大会後に名簿を作成します。分かっている限りで、氏名、住所、電話、メールアドレスを掲載します。

公開してほしい会員は、その旨を村田に至急連絡してください。

また専門分野または関心のある分野を、会費納入の振替用紙に記入してください。

入 会 案 内

「鉱山研究会」は、1973 年 11 月に創立した、国内外の鉱山および炭礦と鉱山に係する事柄の歴史や現状についての研究を目的とする団体です。会報『鉱山研究』や『ニューズレター』の発行、研究大会、例会、鉱山の映像の会、読書会や鉱山地域の巡検や見学などを行っています。

入会資格は特にありません。分野を問わず鉱山に興味がある人でしたらだれでも歓迎します。入会希望者は、以下の宛先に入会を希望することを連絡してから、入会金なしで年会費（2017 年度 6000 円）を送金してください。

振替口座 00250-9-137795 鉱山研究会

連絡先：村田 淳 221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

phone/fax: (045) 401-5259 e-mail : sunao-murata@y8.dion.ne.jp

大会・総会場

省略